

## 1 活動体験

参加者が富士山の自然環境保全活動について直接体験する、活動体験事業を実施しましたので、その様子を紹介いたします。

### 1 富士山の自然観察会と、第2回外来植物撲滅大作戦

日 時：9月10日(土)10時から14時まで

参加者：47名

場 所：富士山御殿場口新五合目周辺

案 内：NPO法人 富士山の森を守るホシガラスの会

内 容： 富士山御殿場口新五合目に広がる火山荒原において、午前には自然観察、午後には外来植物の除去を行いました。

自然観察では、植生遷移が分かるパッチ(植物が群状に分布する場所)や、登山道沿いの地面に組まれた野鳥の巣、森林内で交雑する針葉樹などについて、間近に見て、触れながら解説を受けました。

除去活動では、五合目の東側に生えたヒメスイバを主な対象として、24kg分を抜き取りました。



雪崩などで消失した森林が、復元していく過程を観察しました。



雄大な五合目の景色を背に、駆除活動を行いました。

### 2 富士山の草原性植生保全活動体験(草刈)

日 時：10月1日(土)10時から14時まで

参加者：15名

場 所：富士宮市根原(根原県有地)

主 催：静岡県・富士宮市・ふじさんネットワーク

協 力：NPO法人 富士山自然の森づくり  
富士宮自然観察の会

内 容： 朝霧高原にある根原県有地は、富士山麓を代表する自然的景観と草原特有の貴重な生物相を有しています。このような草原は適切に人の手が加えられることで、その地域固有の生態系を維持しています。

富士山麓ではかつて、かやぶき屋根の材料や薪、肥料として草を刈ることにより、多様な生き物が暮らす草原が保たれていました。

そうした自然の素材を利用することが少なくなった現在では、定期的に草刈を行わないと、草原が森林へと遷移し、それまで暮らしていた生き物が居場所をなくしてしまいます。

このため、一般ボランティアを募集し、草原性植生の維持のため草刈活動を体験しました。



あいにくの雨の中、背の高いスキを中心に刈っていきました。



草刈の後は、背の低い植物にも日が当たるようになりました。

### 3 富士山クリーンアップ登山Ⅱ

日 時：10月15日(土)9時30分から14時まで

参加者：県内大学に通う留学生、浙江省からの静岡県短期留学生 計29名

(国籍)中国、インドネシア、韓国

場 所：富士山富士宮口五合目から宝永火口 往復

案 内：富士山エコレンジャー

内 容： 世界遺産である富士山では、今後も様々な国から多くの方が来訪することが予想されます。そこで、留学生を主な対象として、富士山の自然や登山マナーを学びながらごみ拾いを行う環境学習型の清掃活動を実施しました。

参加した留学生からは、「登山道にごみが少なく、びっくりした。母国の世界遺産とは大違いなので、ごみの持ち帰りを広めていきたい」、「自然解説付きで活動できたので、富士山が火山であり、一度噴火で消滅した植生が、再びよみがえっていく過程にあることが分かった」といった感想が寄せられ、好評を得ました。

参加者には、母国で富士山の素晴らしさやマナーを伝える役割を担ってもらうことを期待いたします。



落石防止のため、ヘルメットを着用して活動しました。



植生が再生していく最前線に関して解説を行いました。

## 4 秋の富士山ごみ減量大作戦

日 時：10月29日(土)9時30分から11時30分まで

参加者：66名

場 所：裾野市須山周辺

主 催：静岡県・静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会・裾野市、  
ふじさんネットワーク

内 容： 富士山の環境保全対策を推進するとともに、環境保全意識の高揚を図るため、ボランティアによる清掃活動「秋の富士山ごみ減量大作戦」を実施しました。

当日はあいにくの雨天でしたが、参加者の皆さんは真剣にごみ拾いに取り組んでくださいました。その結果、可燃ごみと不燃ごみ各120kg、計240kgものごみを回収することができました。

また、主催の裾野市の協力により、裾野市立富士山資料館の無料見学も行われました。



夏の観光シーズンに溜まったごみを回収しました。



雨の中でも、多くのごみが見つかりました。



缶やペットボトルだけでなく、家電、タイヤなども見つかりました。



参加者全員で記念撮影を行いました。